

視の矯正治療の向上を目指す東北屈折矯正研究会（今泉信一郎代表世話人）は6日、盛岡市内のホテルで第9回研究会を開いた。

東北地方の眼科医ら約100人が出席し、大阪大大学院医学系研究科（感覚機能形成学）の不二門尚教授が「眼

矯正治療向上へ
眼科医らが学ぶ

盛岡で東北研究会

近視や遠視、乱視、老



特別講演などが行われた東北屈折矯正研究会

の加齢と屈折矯正」と題して特別講演。老視に対する矯正法とその特徴などを紹介した。

福山眼科（福岡市）の福山会里子院長は「乱視矯正角膜周辺部切開術」と題して特別講演し、小笠原眼科クリニック（盛岡市）の小笠原孝祐院長らも発表した。